

### 気象予報士

天気予報を業務として行うためには、気象庁の許可が必要となります。その許可の条件として「気象の予測については気象予報士に行わせなければならない」と気象業務法という法律に定められています。日立市は、気象庁以外の者が天気予報を行う許可制度ができた昭和28年に許可を取得していましたが、気象業務法が現在の仕組みになった平成9年までに、それまで業務を行っていた市の職員が気象予報士の資格を取得し、再度許可を受けることができています。現在、市役所の中では気象予報士の資格をもった職員が5人おり、天気相談所を含めて、それぞれの職場で働いています。

気象予報士は、天気予報を行うための資格ですが、気象キャスターなどの活躍により、気象の専門家と認識されている方も多いかと思います。全国に1万人ほどの気象予報士試験の合格者がいるのですが、実際に天気予報を行っている人は少ないです。ただ、気象の知識を活かして働く人、防災に携わる人、気象を研究している人、様々な気象現象を趣味として楽しんでいる人など多様な気象予報士がいます。

気象は生活に身近なものですので、知識を持っていると日々の生活に活かすこともできます。気象予報士試験には、受験資格はなく、どなたでも受けることができます。実際、小学生から70歳代の方まで合格者がいます。気象予報士を目指して勉強してみるのはいかがでしょうか。

### 今年の秋の気候は

気象庁の長期予報によりますと、関東地方は、平年より高い気温となり、降水量はほぼ平年並みの予想です。

平年の値（日立市役所）

項目	9月	10月	11月
平均気温（℃）	22.2	17.2	12.3
降水量（mm）	175.2	179.7	74.4
日照時間（時間）	141.5	147.5	159.0
平均湿度（%）	80	75	68

平年値（1991～2020年の30年間の平均）

過去の気象の特徴は月ごとにホームページに掲載しています。

防災対策課と共同運用の「日立市の防災と天気」Facebook ページと Twitter もご利用ください。

※日立市の天気予報は、天気相談所ホームページで毎日発表しています。<https://www.jsdi.or.jp/~hctenso> 行政放送でも定期的に天気予報をお知らせしています。電話での問合せは、直通電話 22-5520 IP 電話 050-5528-5066 へどうぞ。